



				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業名	犯罪被害者等支援事業	含まれる事業数	3	所 属	安全環境 部(庁) 県民安全 課(室) 交通安全県民安全 G・T <input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 事 業 業 業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 補助金 開 始 始 始 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 年 度 度 度 H19 年度 事業終了 経過年数 予定年度 4 年 一 年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
福井新元気宣言における 位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会 ] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の安全・安心(治安回復から向上へ) ]				

[事業目的]  
 「犯罪被害者等基本法」および「安全安心ふくい実現プラン」に基づき、県民への啓発や人材の育成など、犯罪被害者等の立場に立った各種施策を推進する。

[事業内容]  
 (1) 犯罪被害者等支援相談員研修会の実施  
 県や市町の相談機関職員、医療関係職員、教育関係職員、民間の相談員などを対象として、犯罪被害者等支援に関する研修会を開催する。  
 (2) 「犯罪被害者等支援県民のつどい」の開催  
 「犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)」に、被害者の講演、パネルディスカッション、パネル展示等を行い、県民の理解増進を図る。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		1,443	584	584	584	-19.8%			
2月現計予算額の推移		1,443	584	457	203	-45.6%			
決算額の推移		1,189	482	335	119	-19.1%			
事業効果 の推移	活動 指標	犯罪被害者等支援相談員研修会参加者数	100	100	100	90	-3.3%	市町職員、民間の相談員等、犯罪被害者等の相談業務に携わる者を対象	Ⅲ
	成果 指標							目標数値を設定することが困難なため、特記事項に記載	
計画の達成状況	[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]			

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	203	19年度「犯罪被害者等支援ハンドブック」の作成 20年度「犯罪被害者等支援県民のつどい」の見直し	犯罪被害者等支援に対する県民の理解を促進し、「地域で被害者を支える」気運を育むとともに、被害者の実情に応じた適切な支援を行うことができる人材の育成を行うことにより、県民が安心して暮らせる地域づくりが目的である。
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	203	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 県民のつどい、学校等での講演会および相談員に対する研修会の開催により、県民の理解増進および相談員の資質向上を図ることができた。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 県民が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、犯罪被害者等支援に対する県民の理解の促進と適切な支援を行うことができる人材の育成を今後も継続して行っていくことが必要である。 なお、県民の理解増進には、「犯罪被害者等支援県民のつどい」のような講演会だけでなく、職場や学校など県民に身近な場所での事業の実施も必要であるため、隔年開催としたい。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額		千 円

## 平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	安全環境部	部 (庁)	県民安全	課(室)	交通安全・県民安全		G	
事 業 名	安全安心まちづくり推進事業	含まれる事業数	1	事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 始 度 開 年	H16 年度	事業終了 予定年度	一 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井元気宣言の 位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会 ] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の安全・安心 (治安回復から向上へ) ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金		経過年数				7 年
[事業目的]												
県民に対して、家庭や地域での具体的な防犯取組み方法等を安全安心まちづくり推進旬間（10月11日から20日）に集中して広報することにより、県民の防犯意識の高揚を図り、家庭や地域での積極的な防犯活動を促す。（安全安心まちづくり条例第13条に基づく事業）												
[事業内容]												
(1) 安全安心まちづくり推進ポスター掲出による啓発活動 安全安心まちづくり推進旬間中の家庭や地域での防犯活動の実践、県下一斉防犯パトロールへの参加呼びかけ等を内容としたポスターを作成し、県内コンビニエンスストア、金融機関等の協力を得て広報 (2) 自主防犯功労団体の表彰 地域において活発に活動し地域の安全に貢献した団体に対し、福井県安全安心まちづくり推進会議会長（福井県知事）が表彰												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移		394	512	589	571	571	10.5%					
2月現計予算額の推移		394	512	589	571	571	10.5%					
決算額の推移		307	464	549	571	457	11.6%					
事業効果 の推移	活動 指標	ポスター掲出による啓発	2,500	2,500	1,900	1,900	1,900	-6.0%	作成枚数		IV	
	成果 指標	街頭犯罪等（8類型）認知件数※年計	3,233	3,143	2,701	2,524	2,369	-7.4%	自転車盗、空き巣、忍び込み等		I	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]										
区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		571	18年度 ポスターの作成 19年度 ポスター作成、自主防犯功労団体の表彰 20年度 ポスター作成、自主防犯功労団体の表彰 21年度 ポスター作成、自主防犯功労団体の表彰 22年度 ポスター作成、自主防犯功労団体の表彰									
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一 般 財 源	571										
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 警察活動の強化に加え、県民の防犯意識の高揚や防犯対策の普及・啓発を図ることにより、刑法犯認知件数の減少に繋げることができた。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 家庭や地域での防犯活動を推進するため、今後とも、安全安心まちづくり推進旬間における集中的な広報等を通じて、県民・事業者・県が一体となって犯罪の防止に向けた取組みを強化していく必要がある。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
						見直し額	千 円					

## 平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属	安全環境部	部 (庁)	県民安全	課 (室)	交通安全・県民安全		G・T	
事業名	地域防犯パワーアップ事業	含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H22 年度	事業終了予定年度	一 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井新元気宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な社会]	<input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の安全・安心 (治安回復から向上へ)]	<input checked="" type="checkbox"/> 県 単		<input type="checkbox"/> 補 助 金	1 年		<input type="checkbox"/> 法定受託事務				
[事業目的]												
県民による防犯活動や広報啓発活動を県下全域で展開し、女性を狙った犯罪の抑止を図るとともに、県民の防犯意識や地域の防犯活動を向上させることにより、犯罪に強いまちづくりを推進する。												
[事業内容]												
地域住民が市町安全安心センターの指導のもと、女性が被害に遭いやすい場所を抽出し、重点的に辻立ちやパトロールを実施する。 実施場所：人通りのないバス停、無人駅、高架下、民家のない暗い道路等 実施期間：夏季、安全安心まちづくり推進旬間中等												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移						7,613						
2月現計予算額の推移						7,613						
決算額の推移						7,613						
事業効果の推移	活動指標	女性が被害に遭いやすい危険箇所数				571						
	成果指標	女性が被害者となる犯罪認知件数 (暦年)				78						
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]										
区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		7,613										
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一 般 財 源	7,613										
[事業の評価]												
所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 地域住民を巻き込んでパトロールを行うことにより、女性の安全安心の確保に加え、地域住民の防犯意識を高めることができた。				評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後とも、危険箇所に目を配ったパトロールにより女性の安全・安心を確保するとともに、市町安全安心センターと地域住民が丸となったパトロールで防犯意識の高揚を図る必要がある。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
						見直し額	千 円					

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名	青少年愛護審議会運営経費	含まれる事業数	1	所 属	安全環境部	部 (庁)	県民安全	課 (室)	青少年育成	G
福井元気宣言の 位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開 始年 度	S39 年度 経過年数 47 年	事業終了 予定年度 一 年 度	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]  
 青少年の健全な育成を図るとともに、これを阻害するおそれのある行為を防止することによって、青少年の福祉の向上を図ることを目的とする。

[事業内容]  
 青少年愛護審議会の開催  
 委員 20名  
 会議 審議会 (全体会) 年 2 回  
 部会 年 4 回

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	1,364	1,306	1,306	1,168	1,214	△ 2.8%		
2月現計予算額の推移	1,018	1,306	880	820	1,033	3.7%		
決算額の推移	1,009	1,254	793	792	840	△ 1.6%		
事業効果 の推移	活動 指標 審議会開催回数 (部会、全体会)	6	7	6	6	6	0.6%	II
成果 指標							※優良興行・優良図書・有害図書等は、指定件数が青少年健全育成の成果を示すものではないため、成果指標は設定しない。	
計画の達成状況	[目標名]		年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]					

区 分	平成 22 年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	1,033	福井県青少年問題協議会を平成16年3月31日付で廃止し、平成16年4月1日より青少年愛護審議会にその機能を統合	条例に基づく審議会の開催により、青少年指導、育成、保護および矯正に関する総合的施策の樹立に必要な事項、ならびに知事の諮問に応じた調査審議を行い、青少年の健全な育成を図っていく。
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	1,033		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 福井県青少年愛護条例で優良興行・優良図書の推奨、有害図書等の指定等を行う際には審議会の意見を聴くことが規定されている。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 条例の規定に基づき、引き続き事業を実施する必要がある。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属	安全環境部	部 (庁)	県民安全	課(室)	青少年育成	G	
事 業 名	健全育成思想普及経費 (青少年行政情報収集)	含まれる事業数	1	事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 始 期	S43 年度	事業終了	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井元気宣言の 位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金	事 業 開 始 年 度	経過年数	予定年度	— 年度	<input type="checkbox"/> 法定受託事務
					<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他	43 年				

[事業目的]  
青少年に関する基本的な情報、データ等をまとめた資料を作成し、青少年健全育成活動の推進に資する。

[事業内容]  
青少年健全育成に関する冊子の作成、印刷  
「福井の青少年」(H22)  
※隔年制で2種類の冊子を発行  
その他の冊子 「青少年指導者ハンドブック」

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当 初 予 算 額 の 推 移	296	158	195	166	372	21.4%				
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移	296	158	195	166	372	21.4%				
決 算 額 の 推 移	103	136	183	166	283	14.5%				
事業効果 の推移	活動 指標	冊子発行部数	220	300	145	300	145	31.8%	22年度は「福井の青少年」を発行	I
成果 指標									※目標値を設定することが困難なため、特記事項に記載	

計 画 の 達 成 状 況 [目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分	平成 22 年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	372		
財源内訳		活動記録を取りまとめた内容が中心の「青少年の実践活動記録」は平成14年度で発行を止め、活用頻度の高い「青少年指導者ハンドブック」「福井の青少年」を隔年で発行している。 電子媒体による資料提供や配布先の見直し等により、印刷部数の削減を図った。	青少年に関する資料をとりまとめ、審議会等を始めとした様々な機会を活用することにより、青少年に関する総合的施策の推進を図ることができる。
	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	372	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 「青少年指導者ハンドブック」は、県内の青少年育成に携わる者にとっての参考書の役割を果たしており、また、「福井の青少年」については、本県の青少年白書の役割を果たしている。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 資料の作成・配布により、青少年に関する情報を提供し、広く青少年の健全育成を推進していく必要がある。	評 価 に 基 づ く 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他	見 直 し 額 千 円
-----------	--	-----------------------	---	-------------

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
				所 属	安全環境部	部(庁)	県民安全	課(室)	青少年育成	G
事 業 名	青少年育成運動推進事業	含まれる事業数	1	事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> 其 他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 其 他	事 業 開 始 年 度 H21 年度 経過年数 2 年	事 業 終 了 予 定 年 度 一 年 度	事 務 区 分 <input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法 定 受 託 事 務	
福井元気宣言の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]									

[事業目的]  
 青少年の健全育成を図るため、青少年の非行問題に取り組む全国強調月間（7月）および青少年健全育成月間（11月）に大会を開催するとともに、青少年育成関係者の意識啓発を図る。  
 また、青少年に係る健全育成機運の醸成を図るための啓発活動を行い、広く県民の理解と協力を得て青少年育成運動の推進を図る。

[事業内容]  
 1 青少年育成研究大会の開催 [(1)時期 平成21年7月 (2)内容 分散会、全体会、講評]  
 2 青少年育成県民大会の開催 [(1)時期 平成21年11月 (2)内容 対談、大会宣言 ]  
 3 月間における広告等による意識啓発  
 4 青少年健全育成標語の募集  
 5 「少年の主張コンクール」の開催委託  
 [委託先:青少年育成福井県民会議]

[予算額および指標の推移等] (単位:千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				4,035	6,574	62.2%		
2月現計予算額の推移				4,035	6,574	62.2%		
決算額の推移				4,035	6,574	62.2%		
事業効果の推移	活動指標	県民大会への参加人数		450	400	-11.1%	400人程度の参加者数の確保(開催会場の収容人数により変動する)	IV
	指標	研究大会への参加人数		500	450	-10.0%	400人程度の参加者数の確保(開催会場の収容人数により変動する)	IV
	成果指標	内容を理解した人数		637	568	-10.8%	会場でアンケートにより確認	IV
計画の達成状況	[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]					

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位:千円)	6,574	22年度～ 強調月間における広報手段の見直し (ラジオスポット+新聞広告 → テレビスポット)	
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	6,574	

[事業の評価]

所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 青少年健全育成について、関係者の研究・討議の場を設けることや啓発・広報等を行うことにより、青少年健全育成の気運の醸成を図ることができた。 県内中学校の多数の生徒の参加、および中学校生徒を聴衆とする発表を実施することにより、少年に社会の一員としての自覚を広く促している。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 青少年健全育成には、全県的な気運の醸成が必要であることから、大会内容の充実や広報・啓発活動の強化により、県民の気運の醸成に努めていきたい。 青少年が意見や考えを発表する貴重な機会であるため、各市町教育委員会や中学校と連携し、今後もより多くの中学生の参加が得られるよう検討を行いながら引き続き実施していきたい。	評 価 に 基 づく 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し
	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続		<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了	
	<input type="checkbox"/> 整 理 統 合		<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 其 他	
	見 直 し 額		千 円		

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名		含まれる事業数	1	所 属	安全環境部	部(庁)	県民安全	課(室)	青少年育成 G	
福井元気宣言の位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]		事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開年 事業始年度 S43 年度 経過年数 43 年	事業終了 予定年度 一年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]  
 広く県民の総意を集め、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年育成県民運動を展開する青少年育成福井県民会議に対し助成する。

[事業内容]  
 青少年育成支援事業補助金  
 補助事業者 青少年育成福井県民会議  
 補助対象事業 県民運動活性化事業  
 ・ 県民会議推進事業  
 ・ 県民運動普及資料作成事業  
 ・ 市町民会議の指導助成 他

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		3,523	3,626	3,625	3,687	3,642	0.9%			
2月現計予算額の推移		3,624	3,626	2,740	3,633	3,584	1.8%			
決算額の推移		3,624	3,626	2,740	3,633	3,584	2.3%			
事業効果 の推移	活動 指標	会員数	528	503	482	503	486	-2.0%	年度末会員数(団体・個人・企業の合計)	Ⅲ
	成果 指標	地域のおじさん、おばさん登録者数	5,240	5,250	5,400	5,419	5,423	0.9%	年度末会員数(個人の合計)	Ⅱ
	成果 指標								※目標値を設定することが困難なため、特記事項に記載	

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分	平成 22 年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	3,584	平成13年度～ 明るい家庭づくり啓発委託事業の見直し(補助金化) 平成15年度～ 国庫補助の廃止 平成15年度～ 平成18年度 運営補助金の段階的廃止	青少年育成県民会議一昭和41年結成、行政機関における青少年対策と車の両輪となって、県民総ぐるみによる民間運動の展開を推進 【青少年育成運動の方向づけ】青少年育成国民会議(S41.5～)⇔ 【県における育成運動の方向づけ】青少年育成福井県民会議(S41.11～)⇔ 【地域における方向づけ】青少年育成市町民会議(県内17市町 S58～) 社会全体が一体となった青少年健全育成運動展開のため、組織のあり方等を検討
財源内訳	3,584		
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	3,584		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 景気の低迷により個人会員、企業会員数は減少傾向にあるものの、家庭の日「家族ふれあい推進事業」の推進等、青少年育成福井県民会議が推進する県民運動が、徐々に県民に広がってきている。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 青少年を取り巻く社会環境が大きく変化する中、青少年を健全に育成していくためには、地域に根ざした青少年健全育成運動は不可欠であり、青少年育成福井県民会議による地域の教育力強化を目指した青少年健全育成のための諸活動を引き続き支援し、社会全体で青少年の健全育成を図っていくことが必要である。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名		子ども安心県民作戦	含まれる事業数	1	所属	安全環境	部(庁)	県民安全	課(室)	交通安全県民安全	G・T
福井新元氣宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元氣な社会] <input type="checkbox"/> 無 政策 [日本一の安全・安心(治安回復から向上へ)]		事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 17年度 経過年数 6年	事業終了 予定年度 1年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]  
 県、県教育委員会、県警察、地域住民などの連携・協力により、登下校時等の子どもに対する見守り活動を推進し、子どもの安全・安心を確保する。

[事業内容]  
 1 参加者 約48,000人(「子ども110番の家」引受者、自治会代表者、小中学校教職員、PTA、地域の青少年育成指導者、事業所など)  
 2 小学生の登下校時などに自宅前や通学路の要所に立ち、巡回等を実施(全203小学校区)  
 3 中学生の安全確保の活動を実施(全77校区)  
 4 コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどの協力を得て、緊急の際の子どもの避難所として、保護・通報体制を強化  
 5 小学校新入生を対象に防犯ブザーを配布し、小学校区ごとに対応訓練を実施(県警察本部が実施)  
 6 子どもが「子ども110番の家」を巡るウォークラリーの開催  
 7 参加者と子どもの交流の場として「感謝のつどい」の開催  
 8 活動参加者の保険料に対する支援

[予算額および指標の推移等] (単位:千円)

区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		20,130	19,793	19,056	17,817	17,026	-4.1%		
2月現計予算額の推移		16,983	16,500	15,372	15,556	14,510	-3.8%		
決算額の推移		16,964	16,317	14,849	15,363	14,510	-3.7%		
事業効果 の推移	活動 指標	活動参加者数	45,000	46,500	46,600	48,000	48,000	1.6%	II
	成果 指標	声かけ事案等の件数(暦年)	180	190	216	160	224	8.3%	IV

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位:千円)	14,510		
財源内訳	国庫		
	その他特定財源		
	一般財源	14,510	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 市町、警察、学校等の関係機関が地域住民と協力し、県下全小学校で地域ぐるみの子どもの見守り活動に取り組むことにより、不審者が出没しにくい環境づくりを進めることができた。また県下全中学校で安全確保の活動を行った。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 登下校時等の子どもの安全を確保するためには、継続的な取組みが必要であることから、地域ぐるみでの小学生に対する見守り活動や中学生の安全確保の活動を引き続き実施するとともに、子どもの親世代の参加促進、更には子どものいない家庭に対する活動参加の呼びかけなど、その充実・強化を図っていきたい。		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他
			見直し額	千円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課 (室)	交通安全県民安全	G・T		
事業名	非行防止対策経費	含まれる事業数	3	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年	16年度 経過年数 7年	事業終了 予定年度	-年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井新元気宣言における 位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金						<input type="checkbox"/> その他

[事業目的]  
 非行の減少傾向の定着を図るため、青少年の非行防止に関する県民の意識の高揚を図り、県民総ぐるみで育成および非行防止に向けた環境づくりを推進する。

[事業内容]  
 (1) 「青少年非行防止一斉行動」実施事業  
 ・一斉街頭補導活動  
 (2) 「非行防止一斉キャンペーン」実施事業  
 ①街頭啓発活動  
 ②非行防止ポスターの作成・掲示  
 (3) 「マナー意識向上活動」実施事業  
 ①マナーアップ指導 (公共交通機関内での一斉マナー指導)  
 ②非行事例集の作成

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	2,846	2,860	2,233	2,166	2,318	-4.4%			
2月現計予算額の推移	1,888	1,960	1,698	1,628	1,737	-1.8%			
決算額の推移	1,888	1,964	1,668	1,627	1,513	-5.1%			
事業効果 の推移	活動指標	一斉キャンペーン参加者数	—	—	318	334	336	2.8%	II
	成果指標	非行少年数 ※年計	725	632	632	594	519	-7.9%	I
		不良行為少年 ※年計	2934	4719	4910	4856	4,711	15.2%	IV

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	1,737	H16～18 青少年非行防止・マナーアップ推進事業 H19～21 青少年規範意識向上推進事業へ組替え H22～ 非行防止対策経費へ組替え	
財源内訳	国庫		
	その他特定財源		
	一般財源	1,737	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 街頭補導・マナー指導等を実施することは、青少年の非行防止の一助となっている。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 街頭補導・マナー指導等を実施することにより、近年の非行少年の減少傾向を維持していく必要がある。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
				所 属	安全環境部 部(庁) 県民安全 課(室) 青少年育成 G
事 業 名	青少年愛護センター補助金	含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他
福井元気宣言の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]			<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開年 事業始年度 S43 年度 経過年数 43 年 事業終了 予定年度 一年度 事務区分
<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					

[事業目的]  
 県下5市2組合5町が設置している青少年愛護センターが実施する事業に対し助成を行い、青少年の非行防止と健全育成を図る。

[事業内容]  
 市町青少年愛護センターが行う次の事業に対して助成する。  
 1 街頭補導事業  
 2 必須事業(2事業)  
 (1)相談事業(相談事例集作成含む)、(2)環境浄化事業(フィルタリングシステム普及啓発・青少年を取り巻く環境等実態調査を含む)  
 3 選択事業(2事業を選択)  
 (1)地域懇談会、(2)非行防止・健全育成啓発事業、(3)善行青少年表彰

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	4,147	4,120	4,099	4,075	4,056	-0.6%			
2月現計予算額の推移	4,147	4,120	4,099	4,075	4,056	-0.6%			
決算額の推移	4,147	4,120	4,099	4,075	4,056	-0.6%			
事業効果の推移	活動指標	街頭補導実施回数	4,709	4,829	5,160	5,135	3.0%	愛護Cからの実績報告後に記載	II
	指標	街頭補導活動人数	12,459	12,751	13,076	12,919	1.2%	愛護Cからの実績報告後に記載	II
	成果指標							※ 青少年愛護センターの活動は青少年健全育成の一助となっているが、直接的に非行や不良行為の防止につながるものではないため、成果指標は設定しない。	
計画の達成状況	[目標名]	年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]							

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予算額 (単位：千円)	4,056		
財源内訳	国庫	~H7 国庫補助金 H8~ 国庫交付金	青少年の行動の広域化に伴い、全ての市町において補導活動が行われることが必要である。 ○青少年愛護センターの活動地域 ・広域組合設置センター(丹南青少年愛護センター 5市町 奥越青少年愛護センター 2市) ・市町設置センター 10市町 ○H16年度から国庫交付金廃止
	その他特定財源	H13~ 相談事業・環境浄化事業の必須化 H15~ 人口規模に応じて選択事業を2段階とする (人口3万人以上:3事業、3万人未満:2事業)	
	一般財源	4,056 H17~ 必須事業は2事業、選択事業は3事業のうち2事業を選択とする	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価]	評価に基づく今後の対応 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他 見直し額 千円
	市町村合併に伴う補導員数の減少により、街頭補導実施回数、街頭補導活動人数は減少したが、各センターで効果的な補導時間帯および場所の選定を行い補導の強化を図っている。補導件数や相談件数は高水準で推移しており、これは各市町における愛護センターの必要性を示すとともに、各センターが積極的に取り組んでいる姿勢の現れである。	
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]	
	不良行為少年のうち、深夜はいか、喫煙等は依然高い割合を占めており、これを抑制するためにはセンターが実施する街頭補導等の地域に根付いた地道な活動が必要不可欠である。このため、引き続き各センターの行う非行防止活動等を支援していく必要がある。また、青少年の行動範囲や行動様式等の変化に対応するため、関係機関・団体と連携協力を図り、非行防止に向けた県下一斉の活動を展開していく必要がある。	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属		安全環境部		部 (庁)		県民安全		課 (室)		青少年育成		G		
				事 業 区 分		<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実 行 予 算	<input type="checkbox"/> 補 助 金	<input type="checkbox"/> 事 業 開 始 年 度	H20 年 度 経 過 年 数	事 業 終 了 予 定 年 度	一 年 度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務				
事 業 名				「家庭の日」家族ふれあい支援事業		含まれる事業数		1										
福 井 元 気 宣 言 の 位 置 付 け				<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [女性活躍社会]						3 年						<input type="checkbox"/> 法 定 受 託 事 務		
				<input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の子育て応援システム]														

[事業目的]  
 青少年の健全育成には家庭教育の充実が必要であることから、「家庭の日（毎月第3日曜日）」を活用して、家族のふれあいを大切にす意識の浸透を図り、県民と家庭とのふれあい時間の伸長を図る。

[事業内容]  
 (1) 「家庭の日・家族ふれあいデー」への協力店舗等の募集  
 (2) 「ふれあい家族」の募集  
 (3) 青少年健全育成関係団体等と連携した各種取組みの実施  
 (4) 「ふくい家族ふれあいフォーラム」の開催  
 [青少年育成福井県民会議への委託]

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類
当初予算額の推移				2,000	2,000	2,462	11.6%			
2月現計予算額の推移				2,000	2,462	2,462	11.6%			
決算額の推移				2,000	2,462	2,462	11.6%			
事業効果 の推移	活動指標	協力店舗数		506	508	517	1.1%	家族が一緒に訪れる可能性のある県内の店舗等		II
	成果指標	「ふれあい家族」応募家族数		152	408	1,272	190.1%	家族時間を伸ばす運動に参加している家族数		I
	成果指標							※目標値を設定することが困難なため、特記事項に記載		
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]				

区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)		2,462		家族への働きかけにより、家族で共に過ごす時間をふやし、家族のふれあいを高めることが、青少年育成環境の改善につながり、健全育成の一助となっている。
財源内訳	国 庫			
	その他特定財源			
		一 般 財 源	2,462	

[事業の評価]

所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 「ふれあい家族」や「家庭の日・家族ふれあいデー」への協力店舗等を募集することは、家族のふれあい時間（家族時間）の伸長を促進し、青少年の健全育成の一助となっている。		評 価 に 基 づく 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 更に「ふれあい家族」や「家庭の日・家族ふれあいデー」への協力店舗等を募集し、県民参加型のフォーラムを開催するなど、活動を広く県民に周知することにより、活動を活性化させ、青少年の健全育成への気運を高めていく必要がある。			<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
				<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
				見 直 し 額	△ 2,462 千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">会計区分</td> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計  <input type="checkbox"/> 特別会計 ( )  <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )                 </td> </tr> </table>		会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )											
				所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課(室)	交通安全・県民安全	G		
事 業 名	交通安全スローガンコンクール事業	含まれる事業数	1	事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事 業 始 度 開 年	H22 年度	事 業 終 了 予 定 年 度	一 年 度	事 務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務
福井新元氣宣言における 位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元氣な社会 ] ] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の安全・安心 (治安回復から向上へ) ] ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補 助 金		経過年数				1 年
[事業目的]												
県民に交通安全活動への参加意識、当事者意識を持ってもらうために、県民から交通安全スローガンを募集するとともに、スローガンのもと交通安全県民運動の趣旨が広く浸透するよう周知することで、交通安全意識の向上と交通事故防止を図る。												
[事業内容]												
○交通安全スローガンの募集、審査および決定 ・「運転者」「歩行者」「飲酒運転根絶」「自転車」の部門毎に募集  ○県内全域への広報 ・広報車両による県内全域での巡回広報の実施 ・ホームページへの掲載 ・交通安全県民運動等の実施要綱、ポスターおよびちらしへの掲載												
[予算額および指標の推移等] <span style="float:right;">(単位：千円)</span>												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移						600						
2月現計予算額の推移						600						
決算額の推移						600						
事業効果 の推移	活動 指標	チラシによる作品募集 (枚)				60,000						
	成果 指標	応募数				3,332						
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]					
区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		600										
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一 般 財 源	600										
[事業の評価]												
所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 県民に対しスローガンを募集し応募してもらうことで、改めて交通安全に対する意識の向上を図ることができた。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後採用されたスローガンを県・県警・市町および関係団体において活用し、運転者・歩行者等に向け効果的に広報し、交通事故抑止を図る必要がある。					評 価 に 基 づ く 今 後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し			
						<input type="checkbox"/> 継 続	<input checked="" type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
						<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
						見 直 し 額	△ 600 千 円					

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )								
事業名		交通安全広報啓発事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課 (室)	交通安全・県民安全			G
福井元気宣言の位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な社会] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の安全・安心 (治安回復から向上へ)]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開年 事業始年度 H14 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 24 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		

[事業目的]

交通安全スローガンのもと、県民に対して交通ルールの遵守、正しい交通マナーの実践等を広報し、県民の交通安全意識の向上を図る。

[事業内容]

テレビ放送

事故が特に多い、5月および12月の前の4月および11月に集中的に放送を行う。

<福井放送および福井テレビ>

・放送形態 スポット15秒

・放送日時、回数 4月28日～5月7日、11月21日～30日の20日間、約55回/年

ラジオ放送

聴衆率が高い朝方の通勤時間帯に、ドライバーへの注意喚起を行う。

<福井FM>

・放送形態 20秒スポット

・放送日時、回数 毎週月曜日、約52回/年

[予算額および指標の推移等]

(単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		5,776	4,666	4,666	2,645	3,121	△11.1%			
2月現計予算額の推移		5,776	4,666	4,666	2,645	3,121	△11.1%			
決算額の推移		5,776	4,666	4,666	2,645	3,121	△11.1%			
事業効果 の推移	活動 指標	ラジオ等広報回数	312	244	244	139	162	△12.1%	放送手段・放送回数の見直し(H21～)	IV
	成果 指標								※目標数値を設定することが困難なため、特記事項に記載	

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)		3,121	<input type="checkbox"/> テレビ、ラジオ、新聞、ポスター等による広報(～15年度) <input type="checkbox"/> ラジオによる広報(16年度～) <input type="checkbox"/> 放送回数の見直し(21年度～) <input type="checkbox"/> テレビによる広報の追加(22年度～)	交通安全スローガン、「スロードライブの徹底」および「飲酒運転の根絶」を広く県民に広報することで交通事故防止に取り組む。
財源内訳	国 庫	0		
	その他特定財源	0		
	一 般 財 源	3,121		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 交通安全パートナー事業所等自らがテレビ・ラジオを通して交通安全を訴えかけることで、県民に対し強く交通事故への注意を促すことができた。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 交通安全意識を向上させ、交通事故の抑止を図るため、テレビ等の広報媒体を活用しながら広報事業を効率的かつ継続的に行う必要がある。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	△ 3,121	千 円

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名	「見せる」反射材普及活動事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課 (室)	交通安全・県民安全	G
福井新元気宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の安全・安心 (治安回復から向上へ)]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開 業始 年度 H17 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 22 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]  
 高齢者等の交通事故実態に応じた交通安全講習会を開催するとともに、反射材取付活動を実施することにより、運転者に対して「見せる」反射材着用運動を展開し、高齢者の交通事故防止を図る。

[事業内容]  
 福井県交通安全母の会連合会に委託し、高齢者（9,000人）に対して交通安全講習会を行うとともに、参加者に反射材を取り付けさせることで高齢者の安全確保を図る。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移	4,253	4,253	1,686	1,686	1,686	△15.1%				
2月現計予算額の推移	4,253	4,253	1,686	1,686	1,686	△15.1%				
決算額の推移	4,253	4,250	1,685	1,685	1,685	△15.1%				
事業効果 の推移	活動 指標	反射材取り付け者数(人)		9,000	9,000	9,000	0%		II	
	成果 指標	高齢者の交通事故件数 ※年計		828	889	793	766	757	△2.0%	II
		夜間の自転車・歩行者の交通事故死者数(人) ※年計		14	17	16	12	16	6.0%	IV
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]			

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	1,686	自転車への反射材貼付活動(～19年度) 高齢者への反射材貼付活動(20年度～)	
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	1,686	

[事業の評価]

所 属 の 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 高齢者に交通安全講習会等を実施することにより、高齢者の交通事故件数等が前年より減少したが、夜間での交通死亡事故が増加した。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 特に夜間での事故に着眼点をおいた高齢者の交通事故防止活動を推進するため、継続的に高齢者に対して交通安全教育や反射材着用運動を展開する必要がある。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	△ 1,686 千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名	高齢者交通事故抑止対策事業	含まれる事業数	2	所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課 (室)	交通安全・県民安全	G
福井元気宣言の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元氣な社会 ] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の安全・安心 (治安回復から向上へ) ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開年 事業始年度 H14 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 22 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]  
 交通事故死者数に占める高齢者の割合が依然として高いこと、また、10月以降は日没時間が早くなることや気象条件が悪化すること等により、例年、死亡事故が増加する傾向にあり、特に高齢者死亡事故が多いことから、四季の交通安全県民運動とは別に、高齢者に重点を置いた交通安全施策を9月に実施する。

[事業内容]  
 高齢者交通安全推進月間広報事業  
 ・高齢者交通安全推進月間(9月)に、高齢者や運転者が集まるような場所(病院、カー用品店等)に集中してポスターを掲示する。  
 高齢者事故ストップ作戦  
 ・高齢者を対象としたシルバー交通安全セミナーを開催する。

[予算額および指標の推移等] (単位:千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	504	504	504	504	968	23.0%			
2月現計予算額の推移	504	504	504	504	869	18.1%			
決算額の推移	473	471	504	481	733	13.6%			
事業効果 の推移	活動 指標	ポスターの掲出による啓発(枚)	3,200	3,250	3,650	2,800	2,800	△2.4%	Ⅲ
	成果 指標	高齢者の交通事故件数 ※年計	828	889	793	768	757	△2.0%	Ⅱ
計画の達成状況		[目標名]	年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]		

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位:千円)	869	<input checked="" type="checkbox"/> シルバー交通安全ポイントコンクール(~15年度) <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者交通安全推進月間ポスター、ちらし、高齢者交通安全講習会(~16年度) <input checked="" type="checkbox"/> シルバー交通安全セミナーの開催(22年度)	
財源内訳	国 庫	0	
	その他特定財源	0	
	一 般 財 源	869	

[事業の評価]

所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] セミナーの開催やポスターの掲示等により、高齢者のドライバー・交通弱者の双方に注意を喚起することができている。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 交通事故死者数の約5割を高齢者が占めていることから、交通安全3S運動の推進や高齢者交通安全教室の開催とともに、高齢者とその家族、運転者に積極的かつ継続的な注意喚起を行っていく必要がある。		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	△ 968 千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名	交通安全指導者育成事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課 (室)	交通安全・県民安全	G
福井元気宣言の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [日本一の安全・安心 (治安回復から向上へ)]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年 S49 年度 経過年数 37 年	事業終了 予定年度 一 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]  
交通安全母親活動の育成を図ることにより、交通弱者である子どもの交通事故を防止する。

[事業内容]  
家庭や地域における母親の交通安全活動を促進するため、福井県交通安全母の会連合会が行う研修等の開催に対して補助金を交付する。  
 (1) 交通安全母親活動者研修会  
 県内3地区(福井・高志・奥越・坂井・丹南・嶺南)で、総勢500名程度の母親を対象とする研修会を開催する。  
 (2) 福井県交通安全母親活動推進大会  
 県内の母親を対象に、各地区の研修活動の成果発表を兼ねた県大会を開催する。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	630	630	630	630	630	0.0%		
2月現計予算額の推移	630	630	630	630	630	0.0%		
決算額の推移	630	630	630	630	630	0.0%		
事業効果の推移	活動指標 研修会開催回数	4	3	3	3	△6.3%		IV
	成果指標 子どもの交通事故件数(中学生まで)※年計	277	264	238	194	△9.9%		I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	630	交通弱者交通安全対策推進事業(～12年度) 交通安全指導者育成事業に名称変更(13年度～) 委託事業から補助事業に変更(20年度～)	
財源内訳	国 庫	0	
	その他特定財源	0	
	一 般 財 源	630	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 県内を3ブロックに分けて研修会を実施することにより、県域で一律した交通安全母親活動を推進することができる。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 子どもや高齢者の交通事故防止に果たす家庭の役割は大きいことから、母親交通安全指導者の育成と資質の向上を通じて、子どもや高齢者の交通安全活動の充実・強化を図っていく必要がある。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名	交通事故相談所運営事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部(庁)	県民安全	課(室)	交通安全・県民安全	G
福井元気宣言の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会] ] <input type="checkbox"/> 無 政策 [日本一の安全・安心(治安回復から向上へ)] ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開年 事業始年度 S42年度 経過年数 44年	事業終了 予定年度 一年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]  
交通事故により被害を受けた者やその家族等からの損害賠償、更生、援護等についての相談に対応するとともに、必要な指導や助言を行うことにより、交通事故被害者等の福祉の向上を図る。

[事業内容]  
福井県交通事故相談所の運営  
常設相談所1ヶ所(福井・電気ビル)  
移動相談所1ヶ所(敦賀・敦賀合同庁舎) 毎週火曜日  
相談員2名(非常勤嘱託)

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移		5,057	4,983	4,981	4,991	4,878	△0.9%			
2月現計予算額の推移		4,966	4,935	4,980	4,863	4,945	△0.1%			
決算額の推移		4,965	4,935	4,979	4,863	4,945	△0.1%			
事業効果 の推移	活動 指標	ポスターの配布数(枚)	300	300	400	1,000	1,000	45.8%	I	
	成果 指標	チラシの配布数(枚)	6,400	6,400	14,000	38,000	38,000	72.6%	I	
	成果 指標	相談件数	447	474	419	456	457	0.9%	II	
計画の達成状況		[目標名]	年度整備水準[ ] / 整備目標					年度 [ ] = [ ]	※目標値についての考え方(特記事項)	

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	4,945	・常設相談所(福井、敦賀、小浜)、相談員5人(～15年度) ・常設相談所(福井、小浜)、相談員4人(16年度) ・常設相談所(福井)、相談員2人(17年度～)	交通事故による被害者等の不安を解消する対策であるが、交通事故当事者の全てが交通事故相談を必要としているものではなく、必要としている者の数が把握できない。
財源内訳	国 庫	0	
	その他特定財源	536	
	一 般 財 源	4,409	

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 交通事故被害者への援助等の必要性は依然として高い。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 交通事故相談所における相談等による交通事故被害者への援助は必要であり、今後も、より効果的な広報による交通事故相談所の周知徹底を図る必要がある。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )				
事業名	「高めよう消費者力」出前講座事業	含まれる事業数	3	所 属	安全環境	部(庁)	県民安全	課(室)	消費・生活	G
福井新元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開年 事業始年度 21年度 経過年数 2年	事業終了 予定年度 23年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]

県民の消費生活に関する様々な問題に対応するため、市町等が開催する啓発講座等への講師派遣など、消費者に対する啓発の充実を図る。

[事業内容]

- ・地域で開催される消費者啓発講座等（出前講座）へ講師を派遣
- ・消費生活相談実務研修会の開催
- ・相談員養成事業の実施

[予算額および指標の推移等]

(単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移					2,756	2,755	0.0%				
2月現計予算額の推移					2,756	2,149	△ 22.0%				
決算額の推移					1,859	1,854	△ 0.3%				
事業効果 の推移	活動 指標	実務研修会の開催回数			4	4	0.0%		II		
	成果 指標	相談員養成者数			6	5	△ 16.7%		IV		
	成果 指標	実務研修会の参加者数			171	154	△ 9.9%		IV		
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]					

区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)		2,149		
財源内訳	国 庫			
	その他特定財源	2,149		
	一 般 財 源			

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 啓発講座等により消費者の意識が高まるとともに、消費生活相談窓口の対応力強化が図られた。		評価に基づき今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 相談担当者のレベルアップを図るとともに、地域での各種講座に講師を派遣し、消費者問題への意識啓発を図る。			<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
				見直し額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業名	「くらしの安心」情報発信事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境 部(庁) 県民安全 課(室) 消費・生活 G・T <input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他
福井新元気宣言における 位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心]			事業区分	事 業 21 年度 事業終了 開 年 始 過 年 度 度 2 年 予定年度 23 年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]  
 複雑・多様化する消費者問題に対応するため、消費生活に関する総合的な情報紙を発行するなど、消費者に対し情報を提供する。

[事業内容]  
 ・「くらしの情報ふくい」の発行（年12回、月40,000部発行）  
 ・「緊急トラブル速報かわら版」を発行し、悪質商法に関する情報を迅速に提供

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				5,977	6,481	8.4%		
2月現計予算額の推移				5,019	4,994	-0.5%		
決算額の推移				4,625	4,665	0.9%		
事業効果 の推移	活動指標	情報紙発行件数		480,000	480,000	0%		II
	活動指標	緊急トラブル速報発行部数		4	4	0%		II
成果指標							※目標値を設定することが困難である	
計画の達成状況	[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]			

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	4,994		成果目標について 「くらしの情報ふくい」「緊急トラブル速報かわら版」の発行は、必要な情報を迅速に提供することによって消費者の自立を支援し、消費者被害の未然防止を図ることが目的であるため、目標値の設定は困難である。
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源	4,994	
	一 般 財 源		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 消費生活に関する様々な情報をタイムリーに提供することで消費者の自立を促進した。また、県内での消費トラブルを新聞広告により県下全域に周知することができた。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 消費トラブル等消費者の視点に立って必要な情報の迅速な提供を継続し、消費者の自立を促進する必要がある。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課 (室)	消費・生活	G・T	
				事業区	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事 業 開 始 年 度	22 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 - 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
事 業 名	福井の若者消費者力アップ事業	含まれる事業数	1								
福井新元気宣言における 位置付け	<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な社会 ] ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心 ] ]										

[事業目的]  
消費生活モニターやセミナーへの参加を通して、高校・大学生を中心とした若い世代の消費者力の向上を図る。  
教職員研修講座を充実することにより、教員への正確かつ迅速な消費生活情報の提供を行う。

[事業内容]  
・大学生による消費生活モニター（大学生30人）  
・若者を対象にした消費生活セミナーの開催（年1回）  
・教員研修プログラムにおける消費生活関連講座の開設（年2回）

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移					1,936			
2月現計予算額の推移					1,428			
決算額の推移					1,424			
事業効果 の推移	活動 指標	消費生活セミナー開催回数			1			
	指標	消費生活関連講座開催回数			2			
	成果 指標	消費生活セミナー参加者数 (人)			200			
計画の達成状況	[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]		

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	1,428		
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源	1,428	
	一 般 財 源		

[事業の評価]

所 属 方 針	[活動指標、成果指標に対する評価] 大学生の消費生活モニターによるインターネット上の表示、広告に対する調査結果を消費生活セミナーで発表し、若者の消費生活のトラブル防止を図っている。 教職員研修講座を行ったことにより、教員への消費生活情報の提供を行った。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 消費生活モニターの調査やセミナーの開催により、若い世代が消費生活トラブルに遭わないように消費者力の向上を図る。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )				
事業名	みんなで学ぶ食品表示	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部(庁)	県民安全	課(室)	消費・生活	G・T
福井新元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	21 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 23 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]  
 県民の食の安全・安心に関する意識を高めるため、食品表示等に関する講座等を開催する。  
 また、消費生活相談員の食品表示・安全分野への対応力を強化するための研修を行う。

[事業内容]  
 ・消費者啓発講座の開催 年8回（視察研修 年2回を含む）  
 ・相談員等への研修 年2回

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				2,109	2,192	3.9%		
2月現計予算額の推移				2,034	1,765	△13.2%		
決算額の推移				1,682	1,577	6.2%		
事業効果 の推移	活動 指標	消費者啓発講座開催回数		6	11	83.3%		I
	成果 指標	消費者啓発講座参加者数		434	308	△29.0%		IV
計画の達成状況		[目標名]	年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]					

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	1,765	22年度～ 消費者啓発講座の開催を年6回から8回に増やし、より多くの人が参加できるよう見直し	
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源	1,765	
	一 般 財 源		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 県民の食の安全・安心に関する理解が深まっている。 消費生活相談窓口における食品表示・安全分野への対応力が強化されている。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 啓発講座を実施し、食の安全・安心に関する正しい知識の普及を図るとともに、相談窓口の対応力		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名	消費者行政活性化補助金	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課 (室)	消費・生活	G	
福井新元気宣言における	<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な社会			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開年	21 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 24 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務
位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心				<input type="checkbox"/> 県 単	<input checked="" type="checkbox"/> 補 助 金					

[事業目的]

表示・取引・安全などの消費者をめぐる様々な問題に対応するため、消費者行政活性化基金を活用し、市町が行う消費者相談体制の充実や啓発への取組みを支援する。

[事業内容]

地方消費者行政活性化交付金に定める支援メニューに基づいた事業に対して補助金を交付する。

<支援メニュー>

- (1) 消費生活センター機能強化事業
- (2) 消費生活相談スタートアップ事業
- (3) 消費生活相談員養成事業
- (4) 消費生活相談員等レベルアップ事業
- (5) 消費生活相談窓口高度化事業
- (6) 広域的消費生活相談機能強化事業
- (7) 食品表示・安全機能強化事業
- (8) 消費者教育・啓発活性化事業
- (9) 商品テスト強化事業
- (10) 地方苦情処理委員会活性化事業
- (11) 一元的相談窓口緊急整備事業
- (12) 消費者行政活性化オリジナル事業

[予算額および指標の推移等]

(単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移				35,000	48,094	37.4%		
2月現計予算額の推移				50,843	48,518	△ 4.6%		
決算額の推移				45,970	48,239	4.9%		
事業効果 の推移	活動 指標	消費生活講座の開催回数		213	229(見込)	7.5%	市町開催	I
	指標	消費生活講座の参加者数		10,076	13,329(見込)	32.3%	市町開催	I
	成果 指標	相談員数		18	18	0.0%		II
計画の達成状況	[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標			年度 [ ] = [ ]		

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	48,518		
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源	48,518	
	一 般 財 源		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 県民にとって身近な存在である市町の消費生活相談窓口の充実・強化が図れた。 講座を通じて県民に対する様々な消費生活に関する知識の啓発を図ることができた。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 当該補助金を活用し、市町での相談体制の充実・強化をより一層進める必要がある。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成22年度事務事業カルテ

				所 属		安全環境		部(庁)		県民安全		課(室)		消費・生活		G	
				事業区分		<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	<input type="checkbox"/> 補助金	事業開年	事業始年度	19年度経過年数	事業終了予定年度	年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
事業名	悪質事業者対策強化事業	含まれる事業数	2			<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		4年				<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
福井新元気宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な社会] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心]																

[事業目的]  
 悪質事業者の全国的な動向を把握し、必要な場合には行政処分等を行うとともに、県民への迅速な情報提供を行う。

[事業内容]  
 (1) 消費者取引専門指導員の配置  
 事業者の調査、指導業務を専門に行う嘱託職員を配置する。  
 (2) 悪質事業者の動向調査  
 国民生活センターとのネットワーク (PIO-NET、PIO-ALERT) により悪質事業者の全国的な動向・相談内容を把握する。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移			2,796	3,598	3,436	3,381	7.5%		
2月現計予算額の推移			2,612	3,644	3,392	3,542	12.3%		
決算額の推移			2,120	3,476	3,220	3,523	22.0%		
事業効果 の推移	活動 指標	北陸三県悪質事業者対策会議開催回数	4	4	4	4	0.0%		II
	成果 指標	行政指導等を行った件数	2	3	2	2	5.6%		I
計画の達成状況		[目標名]	年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]		

区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)		3,542		
財源内訳	国 庫			
	その他特定財源	285		
	一 般 財 源	3,257		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 積極的な行政指導により、消費者被害の抑止を図れた。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 県内消費相談窓口および近隣県との連携を図り、不当な取引をする事業者の監視を強化する。必要に応じて行政指導や行政処分を実施する。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名	消費者フォーラム・交流事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部 (庁)	県民安全	課 (室)	消費・生活	G・T
福井新元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な社会] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年 16 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 - 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]  
 「消費者総合フォーラム・交流展」を開催することにより、各消費者団体間の連携強化と消費者のさらなる意識向上を図る。

[事業内容]  
 ・いきいき消費者フォーラムin2010  
 時期 平成22年5月  
 場所 福井市  
 内容 講演、事例発表、体験教室  
 県内各地でパネル展等実施

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		2,396	2,137	2,137	2,137	2,137	△2.7%		
2月現計予算額の推移		2,396	2,137	2,137	2,137	2,137	△2.7%		
決算額の推移		2,396	2,137	2,137	2,137	2,137	△2.7%		
事業効果 の推移	活動 指標	フォーラム来場者数(人)		1,000	1,000	1,000	1,000	0.0%	II
	成果 指標	※目標値を設定することが困難である							
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]	

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	2,137	平成15年度までは県主体による県内2箇所(嶺北・嶺南)での開催 平成16年度～消費者団体中心に構成される実行委員会による県内1箇所での開催(開催地域は偏らないように配慮) 18年度～開催日を1日に変更し、幅広い年齢層が参加できるように見直し 19年度～消費者団体が直接消費者に普及啓発する場への見直し	成果目標について 消費者総合フォーラムを開催することによって各団体の連携の強化を図るとともに、消費者の自立を促す。
財源内訳			
国 庫			
その他特定財源			
一 般 財 源	2,137		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 変化する消費者環境に対応するため、消費生活に関する正しい知識を提供し、また広く県民参加を募ることにより消費者問題に関する意識の高揚が図られている	評価に基づき今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] これまで培われた消費者団体の連携を活かし、フォーラムを消費者団体が県民に直接啓発を行う場とするとともに、県民が体験しながら学ぶことができるものとする。また、市町と連携し、県内各地でパネル展・街頭啓発等の関連事業を実施する		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	千 円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )							
				所 属	安全環境部 部(庁)		県民安全 課(室)		消費・生活 G				
事業名	消費生活センター運営費	含まれる事業数	2	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開年	事業始年度	S44年度経過年数	事業終了予定年度	年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
福井新元気宣言における位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な社会] <input type="checkbox"/> 無 政策 [消費者の安全・安心]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金							<input type="checkbox"/> その他

**[事業目的]**  
 消費者への情報提供、学習の場の提供や相談対応の機能を備えた消費者支援施設として運営を図る。  
 また、消費者の安全・安心を確保するため、「福井県消費者行政活性化基金」を財源に、センター機能強化のための機器等の整備を図る。

**[事業内容]**

- 消費生活センターの運営管理
- 情報提供（各種啓発資料の発行、広報媒体への情報提供、パネル・ビデオの貸出、図書の閲覧等）
- パソコンの供用（インターネットによる情報収集等のため、パソコンを消費者の利用に供する。）
- 活性化基金を利用した、テスト機器や県民向け啓発機器の整備

**[予算額および指標の推移等]** (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移		55,387	12,220	1,393	6,884	13,844	82.2%				
2月現計予算額の推移		55,387	11,335	1,393	21,503	13,004	309.2%				
決算額の推移		55,266	11,033	1,340	19,808	12,673	293.6%				
事業効果の推移	活動指標	ホームページアクセス件数	18,398件	25,621件	17,445件	17,726件	14300件	-2.6%	Ⅲ		
	成果指標	センター来訪者数	10,630人	14,560人	11,680人	10720人	9,500人	-0.6%	Ⅲ		

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	13,004	<input type="checkbox"/> 土日情報提供等を開始(16年度～) <input checked="" type="checkbox"/> AOSSAへ移転(19年度) <input checked="" type="checkbox"/> 職員1名減(20年度～)	AOSSA移転により、県民会館使用料が減額した。 19年度予算には、移転経費を含む。 21年度は活性化基金により、商品テスト機器類を整備し、消費相談窓口を強化
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源	11,860	
	一 般 財 源	1,144	

**[事業の評価]**

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 来訪者の理解が深まるように展示手法などに工夫し、充実を図った。特に、消費者庁開設等に関する展示など、時宜にあった展示を行うことで、県民への情報提供の充実を図っている。	評価に基づく今後の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 展示、ホームページなどをさらに充実させるほか、県民への情報提供を強化し、消費生活に関するトラブルの未然防止を図る一方、見学研修などによりセンターの認知度を高める。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名		消費生活講座21事業	含まれる事業数	1	所 属	安全環境部	部(庁)	県民安全	課(室)	消費・生活	G・T
福井新元気宣言における		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会 ] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心 ]		事業区	<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開	事業始	H13 年度	事業終了	■ 自治事務
位置付け							年	年度	経過年数	予定年度	年度
									10 年		事務区分
											<input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]  
 消費者のニーズに的確に応える各種講座を開催することにより、消費生活に関する知識の普及と、かしこく自立した消費者およびリーダーの養成を図る。

[事業内容]  
 ・くらしの専門講座  
 ・商品テスト体験教室  
 ・親子教室  
 ・通信講座  
 ・実修講座

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移		6,162	6,253	6,387	5,916	5,916	-0.9%		
2月現計予算額の推移		6,162	6,253	6,387	5,916	5,916	-0.9%		
決算額の推移		6,162	6,039	6,123	5,911	5,911	-1.0%		
事業効果 の推移	活動 指標	講座開催回数	28回	27回	34回	26回	28回	1.6%	II
	成果 指標	講座受講者数	1,161人	1,084人	1,637人	1,530人	1,538人	9.6%	I

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	5,916	・事業内容に出前講座を追加(15年度～) ・くらしの講座の対象者および内容の変更(16年度～) ・出前講座以外の各種講座を外委託し、職員1名減(17年度～)	・出前講座を「高めよう消費者力」出前講座事業として分離(21年度～) (18～20年度の講座回数、受講者数には出前講座含まず)
財源内訳	国 庫		
	その他特定財源		
	一 般 財 源	5,916	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 消費者の安心・安全への関心を高めるため、講座の企画を工夫し、受講の拡大を図るとともに、悪質商法等によるトラブルの未然防止を図った。	評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 民間団体の活力を活かした、より効果的な講座の企画・運営を行う。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整 理 統 合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	

平成 22 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
事業名	苦情処理体制強化費	含まれる事業数	4	所 属	安全環境部	部 (庁)	県民安全	課(室)	消費・生活	G・T
福井新元気宣言における	<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な社会 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国 庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業年度	S44 年度	事業終了	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
位置付け	<input type="checkbox"/> 無 政 策 [消費者の安全・安心 ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県 単	<input type="checkbox"/> 補助金	開 始 年 度	経過年数	予定年度	年度
					<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他	年 度	42 年	事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業目的]  
 複雑な消費生活相談に対処するため、消費生活相談員の設置および苦情処理相談員（弁護士）等の設置を行う。  
 また、「福井県消費者行政活性化基金」を財源に、複雑、高度化している消費生活に関する苦情処理のため、消費生活センターおよび嶺南消費生活センターにおいて、弁護士や建築士による特別相談の実施や、相談員の処理能力を高めるための事例研究等の研修を行う。

[事業内容]  
 ・消費生活相談員を設置し、消費生活全般にわたる相談対応、苦情処理、あっせんを行う。  
   消費生活センター 8名  
   嶺南消費生活センター 3名  
 ・相談員の資質向上のための研修の参加および実施  
 ・建築士等による特別専門相談 毎月1回、高度な専門知識を要する相談についての助言を得る。  
   [クレイマー対策、相続・登記関係、金融商品関係、接遇等]  
 ・弁護士による特別相談 毎月1回、複雑な相談の処理についての助言を得る。

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移	37,967	38,012	34,872	35,382	34,674	-2.2%				
2月現計予算額の推移	37,887	36,258	34,438	34,273	34,927	-2.0%				
決算額の推移	37,380	36,150	34,351	34,132	34,923	-1.6%				
事業効果 の推移	活動	消費生活相談員数	12人	11人	11人	11人	-2.1%		Ⅲ	
指標	成果	相談件数	7,264件	7,102件	5,509件	4,218件	3,600件	-15.7%	※ただし18、19年度は振込詐欺関連の相談が多かったが、県民への周知が徹底されたことにより相談件数は減ってきている。	Ⅳ
指標										

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]

区 分	平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	34,927		
財源内訳		<input type="checkbox"/> 嶺南消費生活センターの相談員を1名増員(14年度～) <input type="checkbox"/> 土日に相談受付を開始(16年度～) <input type="checkbox"/> 個人情報苦情相談窓口を開設し、相談員を1名増員(17年度～) <input type="checkbox"/> 相談員を1名減(19年10月～) <input type="checkbox"/> 嶺南地域における弁護士による特別相談および建築士等による特別専門相談を開始(21年度～)	
国 庫			
その他特定財源	4,043		
一 般 財 源	30,884		

[事業の評価]

所属の方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 架空請求に関する相談件数が減少していることから、相談件数は減少傾向にあるが、悪質商法や製品の安全安心など複雑・多様な相談が増える傾向にあるため、県民の消費生活センターに対するニーズは依然として高い。  [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 相談内容の傾向を把握し、それに応じた相談体制の検討と事業者指導の強化に努める。	評価に基づく今後の対応 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他 見直し額 千 円
-------	---	--